

第5期 中原区区民会議

報告書



平成28年3月

第5期中原区区民会議報告書の発行によせて

地域コミュニティの活性化は区民の相互理解から

川崎市の将来人口推計（2014年公表）によると、中原区の人口は2035年まで増加が続くことが見込まれています。主な要因は、小杉地区を中心とした再開発等による新たな区民の増加です。こうした人口増加による変化は、私たち区民の日常風景の中に見られます。例えば新しくきれいな商業施設や高層住宅、そこに集う働きざかりの大人や元気な子どもたちの姿などです。

中原区が今後も健全に、持続的に発展していくためには、増加し、多様化する区民の交流、相互理解を深め、「地域コミュニティ」の中に「みんな」で、「思いやりのマナー」を育んでいくことが、まず大切ではないか。第5期中原区区民会議が地域の現状や課題について話し合った時、浮かび上がってきたのはそんな思いでした。今期取り組んだ二つの審議テーマに含まれた「地域コミュニティ」「みんなで」という言葉にはその思いが強く表れています。

一つ目の審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」では、まちの美化や自然保護や緑化、景観への配慮だけでなく、地域を良くしていこうという活動を幅広く捉え、区民みんなで取り組んでいくことや、地域で頑張っている方々を応援し、仲間を増やしていくことを目指しました。

二つ目の審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー～歩きやすいまちに～」では、自転車を巡る法制度の改正や事故の深刻化等で最近話題の「交通問題」に焦点を当て、自転車だけでなく、ベビーカー、車いすなど様々な交通手段で区内を行き来する区民が互いに気持ちよく、安全・安心に通行できる環境づくりを考えてきました。

この報告書には、区民会議の活動成果としてまとめた取組提案やその実践状況が記されています。私たち委員の任期は6月で終わりますが、その後も、それぞれの生活の場や活動の場で、区民と行政が協働し、企業、市民活動団体等と連携を図りながら、その実現に尽力していきたいと考えています。

この取組提案が、地域コミュニティの活性化や区民の絆づくりにつながり、一人でも多くの区民に中原区の地域の魅力を知ってもらふこと、愛着を持って長く中原区に住み続けてもらえることを願っています。

平成28年3月 第5期中原区区民会議委員長

板倉 徹

このページの写真：第6回なかはらフォトコンテスト 入選 「調和」（中原平和公園）
表紙の写真：第6回なかはらフォトコンテスト 入選 「2015春、新しい中原、空から」（多摩川河川敷（等々力緑地））

目次

I	審議・取組の結果	2
	1. 審議テーマ（地域課題）について	
	2. 取組提案・取組経過一覧	
II	審議テーマが決まるまで	8
	1. 地域課題の抽出と検討	
	2. 審議テーマの絞り込み・決定	
III	取組提案とこれまでの取組経過	11
	1. 「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」	
	2. 「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」	
	3. 参考事例やその他の検討内容など	
IV	資料編	27
	1. 第5期中原区区民会議について	
	2. 委員・参与名簿	
	3. 会議開催記録	
	4. 「なかはら区民会議だより」の発行	



中原区区民会議キャラクター たぬきくん

I 審議・取組の結果

なかほらエコ推進大使
ロジちゃん



1. 審議テーマ（地域課題）について

第5期中原区区民会議では二つの審議テーマに取り組みました。

地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに

検討期間（平成26年11月～平成27年7月）

地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～

検討期間（平成27年8月～平成28年1月）

これらの審議テーマには、次のような委員の現状認識、思いが込められています。

地域コミュニティを活性化しよう！

■ 中原区の「今」は？

- ・小杉地区を中心とした再開発等によって、新しい生活の場、活動の場が生まれ、若い世代を含め、新たな価値観、地域観を持つ区民が増加してきている。
- ・町内会・自治会による地域コミュニティや、地域の市民活動団体の中に、メンバーの高齢化や固定化など、担い手不足に悩んでいるケースがある。

■ めざすべき姿、区民会議ができることは？

- ・多様化する区民の交流、相互理解を推進し、地域の「絆」を強化する。
- ・取組を通じて、区民の目を地域に向け、地域活動への参加を促進させる。

みんなで 取り組もう！

■ 中原区の「今」は？

- ・区内には、地域課題の解決や暮らしやすい地域の実現に向けて活動する多くの団体や法人・企業、区民がいるが、情報が共有されていない。

■ めざすべき姿、区民会議ができることは？

- ・既存の活動団体を支援し、情報の共有化や連携の強化を図ることで、区民がより力を発揮できる環境を整備する。
- ・地域の新たな担い手を発掘し、育てる。
- ・地域団体や市民活動団体、大型集合住宅、商店、工場、企業など様々な主体が、協働・連携しながら、取り組めるよう働きかける。
- ・障害者や外国籍の市民など、マイノリティがともに参加できる環境を整え、地域の絆を深め、支え合う地域を実現し、安全で安心して長く暮らせる区にする。

二つ目の審議テーマ

まちをきれいに しよう！

■ 中原区の「今」は？

- ・再開発等で、きれいで整ったまちなみ、環境になってきているが、落書き、ごみ排出のマナーの悪い集積所など課題箇所が一部存在する。

■ めざすべき姿、区民会議ができることは？

- ・区民自らの手で地域をきれいにし、守っていく気運を高める。
- ・「きれいなまちづくり活動」として、環境等だけでなく、快適さや暮らしやすさにつながる活動や、区民の心の交流を図る活動など幅広い取組を捉え、地域で頑張っている区民や多様な活動主体等との連携、活動の活性化を図る。
- ・取組を通じて、区民の地域への愛着や誇りを育む。



交通マナーを育て、誰もが歩きやすいまちをつくろう！

■ 中原区の「今」は？

- ・日常生活から自転車が切り離せない。平坦な土地で利用しやすく、複数台所有する家庭が多い。
- ・中原区だけの傾向ではないが、自転車の絡んだ交通事故が増加しており、深刻な被害に至る事例も発生している。また、道路交通法改正により自転車の取締りが厳しくなったが、その内容が十分に浸透しているとは言い難い。
- ・買物などの短時間利用者の自転車対策が課題。駐輪問題等の対応に苦慮しており、商店にも配慮した対策が求められている。
- ・車や自転車、歩行者だけでなく、ベビーカーや車椅子の利用者など、多様な交通手段を利用する人々が、安全・安心に通行できる環境が求められている。

■ めざすべき姿、区民会議ができることは？

- ・交通ルールの内容、その重要性をより多くの区民に浸透させる。
- ・多様な区民の相互理解を進め、思いやりの交通マナーを育み、誰もが安心して通行できる環境をつくる。



2. 取組提案・取組経過一覧

審議テーマ① 地域コミュニティ、みんなで

解決すべき地域の課題と解決の方向性について、次のとおり整理しました。

課題①

既存の活動の実態や課題・工夫等の情報が充分把握、整理されていない。

解決の方向性①

既存の活動団体の現状を調査し、結果を整理・活用する。

課題②

ごみの分別や排出について、正しい方法や再資源化の効果が分かりにくい。また、一部に、ごみの分別意識の低い区民が存在する。

解決の方向性②

正しいごみの分別等について、多世代が楽しく学べる場を創出する。児童福祉施設や教育施設などの連携を図り、より広く普及させる。

課題③

既存の活動団体の認知度が低い。活動の範囲、対象等が個別的になってしまっていることがある。

解決の方向性③－1

「きれいなまちづくり活動」を幅広く捉え、多様な活動団体の活躍・連携の場を形成する。

解決の方向性③－2

優れた活動のPRや顕彰などを行う。活動のノウハウや情報の共有を推進する。

課題④

既存の活動に対する参加者が限定的になってしまっている。

解決の方向性④

活動がより多くの区民の目に触れる機会や参加の機会を創出し、活動の周知を図り、区内で取組への気運を高める。



中原区イメージアップキャラクター
うさぎちゃん

まちをきれいに

課題解決に資する提案を行い、できることから取組を進めています。

「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の実施

- 既存の活動の現状、工夫、課題を調査、得られた情報を活用
- 区内 88 団体から回答
- 活動の状況・工夫・課題、区内の課題箇所などの情報を整理 詳細 11 ページ

提案① 中原版 仕分けの達人ゲームの制作と活用

- ごみの分別を楽しみながら学べるゲームづくり
- 区キャラクター、子どもでもできるルールなど
- イベント、区民の集まる場、活動等の場で展開

等々カピカ美化大作戦の実施

- 川崎フロンタール中原アシストクラブの協力で、区民祭でごみの分別ゲームを実施

詳細 12 ページ

提案② 人形劇による美化・リサイクルの啓発

- 人形劇でごみの分別やリサイクルの啓発
- 分別やリサイクルの効果、地域愛など児童に伝える

啓発人形劇の公演

- オリジナル脚本の啓発人形劇を人形劇団ひとみ座が就学前児童を対象に公演 詳細 13 ページ

提案③ 「きれいなまちづくり活動」の推進

- 相互の活動体験・情報やノウハウの共有
- 企業等による地域貢献活動と地域の相互連携
- 担い手団体の育成・立上げ支援 など

なかはら一斉クリーンアップ大作戦の実施

- 武蔵小杉駅周辺地域の清掃活動を実施するとともに区内の他の地域でも参加の呼び掛け

詳細 14 ページ

提案④ 「きれいなまちづくり」啓発掲示物の作成

- 地域の優良箇所または課題箇所に設置
- 区民会議のPR、「きれいなまちづくり」の普及・啓発

啓発看板の設置

- 武蔵小杉駅周辺など、区内数箇所に啓発看板を試験的に設置

詳細 15 ページ

提案「きれいなまちづくり活動」キャンペーン

- 「きれいなまちづくり活動」の情報の収集、キャンペーンによる発信、顕彰の検討
- ⇒区民会議「市民報告会」で①～④についてできる企画から実施
- 「市民報告会」で参加団体に声掛け、取組・体験等の企画

審議テーマ② 地域コミュニティ、みんなで

課題① 自転車に起因する事故

- 自転車危険運転・違反運転の増加
- 交通事故の増加・深刻化

解決の方向性・取組例①

- 既存の取組（交通安全教室など）の周知・徹底
- 自転車保険への加入の奨励・促進
- 事故事例等の広報

課題② 交通ルールの周知・取締

- 駐輪場利用促進…買物等一時利用
- 自転車の安全・安心通行環境づくり
- 路上駐輪…歩道・点字ブロック上など
- 路上陳列…歩道の占拠・通行妨害
- ルールの周知・認知の拡大
ながら運転…携帯電話・傘など
自転車＝（軽）車両の意識の欠如

解決の方向性・取組例②

- 駐輪場の整備・拡大
- 事故多発箇所など課題箇所マップづくり
- 花壇、ガードポール等の設置
- 既存の活動の浸透・広報強化
- 高齢者向け自転車安全教室の実施
- 「自転車安全運転者証」の発行

課題③ 交通マナーの啓発・普及

- 通行マナー…並列通行・ながら通行
…成人や中高生など
- “ながら” スマホ…歩行者、
ベビーカー利用者など
- 自転車マナー…過速度、歩行者無視
- ベビーカーのマナー（並列通行・通行妨害など）、ベビーカーへの配慮
- 混雑時の危険運転…通勤・通学時の
駅周辺や幼保施設周辺など

解決の方向性・取組例③

- 自転車マナー教室の開催
参観日、家庭教育学級、町内会等
- SNS等活用した情報発信
（若い世代をターゲット）
- ベビーカー利用のマナー啓発資料
の作成・健診等での配布
- マナーへの喚起の看板の設置
- 啓発標語の選定・活用

課題④ 交通環境の整備

- 自転車通行帯の明示
- 安全・安心な歩行環境の確保

解決の方向性・取組例④

- 自転車通行帯・案内の整備・充実
- 循環型ミニバスの検討

育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～

課題解決に資する提案を行い、できることから取組を進めています。

提案① 交通ルール・マナーの 学習機会の強化・拡大

- 世代や対象に応じた啓発機会の拡大
老人会や保護者参観日に教室や講習
- スケアードストレート方式の
交通安全教室の拡大
体験機会の拡大・映像化・資料化など

高齢者向け交通安全講習会

- 地区社協等による講習会の開催
- ### スケアードストレート方式 交通安全教室の見学
- 中学校における教室の見学
…効果について再確認
詳細 16・17 ページ

提案② 「みんなで育てる交通マナー」 啓発資料の作成・活用

- 啓発標語の募集、ポスターコンテスト等の開催
参加型・公募型、既存活動等との連携
- 啓発資料の作成
入選作品の活用、目に留まり残る形式
- ベビーカー利用のマナーや
周囲の配慮・啓発資料の作成
※利用者向け／子育て中・健診等の場で配布
※周囲向け／駅周辺、商業施設等で掲示

広報紙等に啓発記事の掲載

- クイズ形式の啓発記事を掲載
／「区P協なかはら」第2号
- ### 区役所の啓発動画の配信
- 区民課窓口の待合スペースで
啓発動画を配信
- ### 既存資料の活用
- 国交省の委員会で検討・作成
された啓発資料の活用を検討
詳細 18・19 ページ

提案③ 「みんなで育てる交通マナー」 キャンペーン・イベント

- 普及啓発を推進するしくみづくり
・キャンペーンの展開
サイクルの日（3/19）等の強化期間の
設定、広報大使の任命・活用など
- 発表・交流の場の創出
既存のイベント活用、取組体験など
- 自転車安全点検などの実施
イベント等での点検、啓発物の配布など

広報大使の任命

- 市内で活動するアーティスト
を任命、任命式の開催を企画
- ### 市民報告会での発表・体験
- 提案や活動の発表、模擬体験
の機会を企画
詳細 20・21 ページ

コミュニティバス・循環型バス

意見の整理・取りまとめ
（機を捉えて検討など）

みんなで相互理解・思いやりのマナーを育て、歩きやすく・住みやすいまちに

Ⅱ 審議テーマが決まるまで

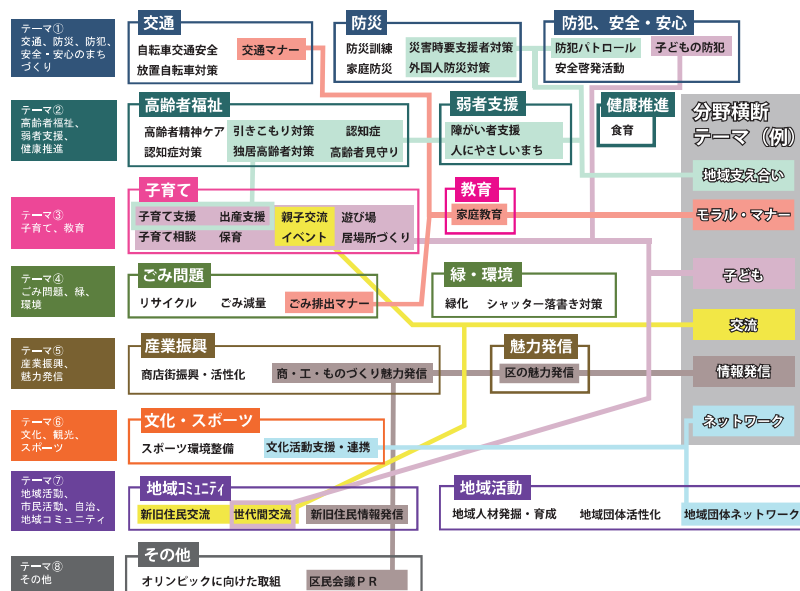
1. 地域課題の抽出と検討



審議テーマの検討にあたり、まず過去の区民会議（第1～4期）で取り扱われた審議テーマと取組結果を、「準備会議」（平成26年7月）で確認しました。

次に、「第1回区民会議」（平成26年7月）で、各委員が「取り組みたいテーマ、地域課題」を発表しあい、意見交換と課題の分野別整理を行いました。その結果は次のとおりです。

【委員提案による地域課題の分野別整理（第1回区民会議資料抜粋）】



最も意見数が多かったのが、「子育て」「地域コミュニティ・地域活動」分野です。若い世代などの新たな区民の転入が増えていることを踏まえた意見が目立ちました。

次に多かったのは「交通、防災」分野です。自転車の事故やマナー、防災では外国人や高齢者などの災害弱者への支援などの課題が出されました。

その他、高齢者の引きこもり対策や健康維持、見守り等の「高齢者福祉」、ごみ減量、リサイクル、排出マナー等「ごみ問題」についても複数の意見が出されました。

「情報発信（魅力発信）」「ネットワーク」「弱者支援（地域支え合い）」など、複数の分

野にまたがった「分野横断テーマ」もいくつか提案されました。

【分野別の地域課題に関する委員の主な意見】

交通…自転車の重大事故の増加。ルールを守らない危険な自転車運転

防災…災害時の独居の高齢者の避難、外国籍区民との相互支援、防災組織・訓練の連携

防犯、安全・安心…子どもをねらった犯罪の防止、防犯パトロールの強化

高齢者福祉…引きこもり高齢者の外出機会の創出、精神的なケア

弱者支援…その人の障害に合わせた支援、バリアフリー等人にやさしいまち

健康増進…高齢者や独居の方への食事指導、「食育」

子育て…家庭外の居場所・遊び場、親子参加イベント、育児に悩む母親の参加、

中高生の居場所・悩み相談場所、高齢者と子どもたちの交流の場、託児支援

教育…家庭における教育・しつけや礼儀

ごみ問題…不要品の活用、住宅・事業者等が一体となってリサイクル推進、

美化による犯罪抑止、汚いごみ集積所

緑・環境…緑化の推進、落書き対策

産業振興…商店街活性化・魅力発信・大型集合住宅との連携、ものづくり応援

魅力発信…区の様々な魅力の内外への発信

地域コミュニティ…多様な住民の世代間交流・相互理解促進、地域の再発見、

参加による地域情報マップの作成

地域活動…転入者に地域意識の啓発、地域の人材の発掘・育成、

若い世代の地域参加促進、町内会の高齢化・地域担い手不足対策

その他…区民会議のPR、オリンピック・パラリンピックに向けた取組

また、二つ目の審議テーマの検討に際しては、委員から「取り組みたいテーマ」を再度出し合ったほか「川崎市の未来を考える市民検討会」（平成26年）で出された「地域課題」の内容についても確認しました。

【「川崎市の未来を考える市民検討会」における地域課題（第4回区民会議資料抜粋）】

地域防災力の向上と防犯対策／自転車利用環境の向上と交通安全対策／

高齢化の進行と支え合いの体制づくり／総合的な子ども支援の推進

2. 審議テーマの絞り込み・決定

審議テーマ数の検討（全体会議）

審議するテーマ数については、検討の結果、調査・審議に十分な時間を得るため、二つとしました。

また、二つ目の審議テーマについては、地域課題の緊急性や社会情勢等にきめ細やかに対応するため、一つ目の審議テーマの審議終了後に検討することとしました。

審議テーマの絞り込み（全体会議・運営部会）

「区民会議の審議にふさわしいテーマ」として、次の観点を重視して絞り込みました。

「地域コミュニティ」を主眼においたテーマ

- 「地域コミュニティ」の充実が、全ての地域課題の解決につながる
- 「地域コミュニティ」における区民の交流・助け合いを深めていくことが第一歩

「区民、みんなで取り組める」テーマ

- 多様な区民・主体が共に取り組めるテーマ
- 誰もが当事者感覚で参加しやすく、区民が一体となって取り組めるテーマ
- 既存の取組との連携、展開が可能であって、目標・成果が提示しやすいテーマ

審議テーマの決定（全体会議）

地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに

まちをきれいにする多様な活動を通じて、地域の絆を深め、地域を活性化する

テーマ決定：平成26年10月（第2回区民会議）

選定理由：区民の誰もが当事者である、まちが変わりつつある今こそ区民の交流を進めたいなど

取組提案検討：平成26年11月～平成27年7月

地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～

相互理解・思いやりの交通マナーを育て、歩きやすく、住みやすいまちにする

テーマ決定：平成27年7月（第5回区民会議）

選定理由：モラル・マナーの面で一つ目の審議テーマと通ずる、道交法の改正や自転車事故の深刻化などで話題性も高いなど

取組提案検討：平成27年8月～平成28年1月

Ⅲ 取組提案とこれまでの取組経過

課題調査部会を中心に、次の観点を考慮しながら、審議テーマに係る地域課題の解決に資する取組提案の検討や取組を進めてきました。

取組提案の検討のポイント（6つの観点）

区の特徴や現状…中原区らしさ	区民会議取組として…意義や妥当性、効果
緊急性・優先性…深刻度、機会・時期	実現性…担い手・費用・手段
話題性…当事者性・ニュース性	共感性…やってみよう、やってみたい

1. 「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」

「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の実施

課題と解決の方向性

解決したい地域課題

- 既存の活動の実態や課題・工夫等の情報の把握・整理が不十分

課題解決の方向性

- 既存の活動団体の現状調査を実施し、調査結果の整理・活用を図る

提案内容と取組状況

- 「地域コミュニティ」の結びつきを強める幅広い「きれいなまちづくり活動」の情報をアンケート調査で収集
- 対象は区内の町内会・自治会、事業者、学校、商店街、市民活動団体、企業など
- 活動の内容や工夫点、課題など、得られた情報を他の取組提案の推進に活用

活動内容・課題・工夫等の他、区内の好きな場所や課題と思う場所なども調査し、平成27年4月までに88団体から回答を得た上で、集計・整理しました。

実際に使用した調査票

今後の進め方など

- 得られた情報の発信や活用・新たな情報の発信や活動の連携先・担い手の発掘・育成等

提案① 中原区版 仕分けの達人ゲームの制作と活用

課題と解決の方向性

解決したい地域課題

- ごみの正しい分別方法や再資源化の意義や効果がわかりにくい
- ごみの分別意識が低い区民の存在

課題解決の方向性

- 多くの区民が、多世代で、楽しみながら学び、体験できる場を創出

提案内容と取組状況

1. 仕分けの達人ゲームの制作

- ごみの正しい分別方法を楽しみながら学べる中原区版「仕分けの達人ゲーム」の制作
- 区のキャラクターを盛り込むなど、中原区らしく、親しみやすいツールとする
- 子どもにも分かりやすいルールや、英語等の表記などを心がける

2. 仕分けの達人ゲームの活用

- 区内イベントや環境教育の場への出展で、来場者が挑戦できる場を設置
- 廃棄物減量指導員等による展開、子育てサロンやふれあい会食会などでの展開

等々カピカ美化大作戦の実施 ～スタジアムをキレイにするのは君だ～

区民祭で川崎フロンターレ中原アシストクラブの協力の下、インターンシップの大学生による企画・運営でごみの分別ゲームを実施。多くの親子連れ等に体験してもらうことができました。



区民祭での「等々カピカ美化大作戦」の様子

今後の進め方など

- より多くの場で行うための手法の検討（ゲームのツール化、担い手の発掘・育成など）

提案② 人形劇による美化・リサイクルの啓発

課題と解決の方向性

解決したい地域課題

- ごみの正しい分別方法や再資源化の意義や効果がわかりにくい
- ごみの分別意識が低い区民の存在

課題解決の方向性

- 将来を担う子ども世代から、ごみ分別やまちの美化への関心を喚起

提案内容と取組状況

中原区市民提案型事業で啓発人形劇の展開

- 生活習慣（歯磨き等）をテーマとした人形劇で実績のある「フロンターレで毎日元気いっぱい!! 推進事業」のごみの分別をテーマにした取組への支援・協力の推進
- 分別・再資源化の意義・効果、「まちがきれいだとみんなが嬉しい」のメッセージを脚本・演出等へ盛り込む。
- 区内幼児対象の取組を検討（就学前児童の集まるイベントの場での展開など）

啓発人形劇の公演

平成27年度中原区市民提案型事業として人形劇団ひとみ座の協力の下、川崎フロンターレ中原アシストクラブが実施しました。区民会議から脚本等への要望を伝えた結果、川崎フロンターレのキャラクターが活躍するオリジナル脚本で、就学前の児童が集まるイベントの場等で計6回の公演を実施しました。



市民館での啓発人形劇の公演の様子

区民会議提案事業として広報等の面でも支援しました。

今後の進め方など

- 平成28年5月開催予定の「区民会議市民報告会」の場でも同じ内容で人形劇の公演を検討中
- 動画の記録やネット上での公開など、より多くの区民の目に触れる機会の検討

提案③ 「きれいなまちづくり活動」の推進

課題と解決の方向性

解決したい地域課題

- 既存活動の認知度が低い
- 活動の範囲、対象等が個別的になってしまっていることがある

課題解決の方向性

- 「きれいなまちづくり」活動を幅広く捉え、多様な活動団体の活躍・連携の場を形成

提案内容と取組状況

1. 地域活動の認知度向上、担い手発掘

- 相互活動体験、ノウハウ共有など情報交流の場の創出、企業等との連携の推進
- 公園、街路樹等を維持管理する団体の立上げ支援、担い手育成の推進

2. 区の木・区の花の活用

- 区の花「パンジー」、区の木「モモ」を活用した区内の資源や地域活動のPR
例：樹木名プレートの設置、プランターの配布・設置

なかはら一斉クリーンアップ大作戦の実施

NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントの定例清掃活動に合わせて、平成27年11月7日（土）、小杉駅周辺の清掃活動を一斉に実施しました。

事前に広報チラシを広く配布して参加者を募集した結果、当日は約150名の区民が参加しました。



清掃活動に参加する子どもたち

今後の進め方など

- 平成28年5月開催予定の「区民会議市民報告会」の場で取組に参加した団体などに、通常の活動内容や当日の感想などを伺うプログラムを企画中

提案④ 「きれいなまちづくり」啓発掲示物の作成

課題と解決の方向性

解決したい地域課題

- 既存活動の低い認知度
- 活動の範囲、対象等が個別的なことがある

課題解決の方向性

- 活動の周知や顕彰、ノウハウや情報の共有
- 課題箇所へ環境改善の働きかけの推進

提案内容と取組状況

1. 地域の課題箇所・優良事例の抽出

- 「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の結果に基づいて、地域の課題箇所や優良事例を抽出
- 見出した箇所の維持や改善方法の検討

2. 啓発物の製作・設置

- 中原区らしく、訴求力の高いデザインや掲載内容の検討
- アンケート調査で見出した地域の課題箇所や優良事例を踏まえた啓発物の製作
- 「きれいなまちづくり活動」の理念の普及・啓発や区民会議の活動のPR

地域の課題箇所・優良箇所の抽出

「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の結果に加え、委員が鉄道駅周辺等の現場を視察し、啓発物の掲出場所を検討しました。

啓発看板の設置

川崎フロンターレの選手を起用した、中原区らしい看板を作成し、鉄道駅等、区内5箇所に試行設置します。



駅舎に設置された啓発看板

今後の進め方など

- 試行設置の検証結果などから、設置場所の拡大等の検討など

2. 「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー

～歩きやすいまちに～

提案① 交通ルール・マナーの学習機会の強化・拡大

課題と解決の方向性

解決したい地域課題

- 自転車の危険運転・違反運転の増加
- 交通ルール・マナーを知らない、または意識が低い区民の存在

課題解決の方向性

- 事故の危険性の再認識による意識啓発
- 世代に応じた取組の拡大

提案内容と取組状況

1. 世代や対象に応じた啓発機会の拡大

- 子ども、保護者世代 → 保育園、幼稚園の参観日や家庭教育学級などの「場」を捉えた取組
- 高齢者世代 → 老人会などで企画する交通安全教室の推進・開催の支援
- 現役世代 → 企業や事業所等への参加・協力の呼び掛け、連携など

2. スケアードストリート方式の交通安全教室の拡大

※スケアードストリート方式=スタントマンにより交通事故を再現し、事故の衝撃や恐怖を実感することで、ルールとマナーの大切さを学び、事故につながる危険行為を未然に防ぐ教育手法

- 小・中学校を対象に実施される教室（年3回）の対象拡大や開催回数の増加
- 企業等へ会場提供等の協力依頼や連携、参加呼び掛けなど
- 小学生、保護者と共に、多くの区民が参加・体験しやすい日時・会場の設定
- 深刻な交通事故事例や区内の事故件数等の実態の把握とその広報
- 既存のイベントやキャンペーンとの同時開催等、連携・活用の検討



高齢者向け交通安全講習会の開催

自転車の利用者が多いものの、交通ルールを学ぶ機会の少ない高齢者を対象に、中原警察署を講師に迎えた交通安全講習会が開催されました。

【平成28年3月2日（水）】

- 主催：住吉地区社会福祉協議会高齢者福祉部会（委員の所属団体）
- 講師：中原警察署
- 会場：井田老人いこいの家
- 内容：区内の交通事故発生状況、自転車安全利用五則についてなど



交通安全講習会の様子

スケアードストリート方式の交通安全教室の見学

西中原中学校で全校生徒の参加のもと開催された交通安全教室を、委員6名が見学。交通事故の怖さやルールを守ることの大切さを改めて実感しました。

【平成28年1月15日（金）】

- 主催：JA共済連・神奈川県警

※平成28年度には、同方式の交通安全

教室が区内4校で予定され、授業参観

日に合わせた開催など、参加者の拡大に向けた検討がされています。



スケアードストリート方式の交通安全教室

今後の進め方など

今後の検討課題

- 交通安全講習や教室の開催支援の方法
- 現役世代へのアプローチ方法
- 会場・予算の確保、広報など

担い手候補（実行主体・協力依頼）

町内会・自治会、交通安全関係団体、区PTA協議会、地域教育会議、区役所関係部署など

取組手順（案） できることから取り掛かる

- ① 対象や手法などの検討（既存の取組との連携など）
- ② 広報・周知、企業等への協力・参加の呼び掛け
- ③ 交通安全講習会・教室の開催

提案② 「みんなで育てる交通マナー」啓発資料の作成・活用

課題と解決の方向性

解決したい地域課題

- 交通ルール・マナーを知らない、または意識が低い区民の存在
- 小杉駅周辺等に多いベビーカーの利用者への配慮やマナー

課題解決の方向性

- 交通ルール・マナーの普及・啓発
- ゆずりあい、配慮し合うことによる「安心して通行できる環境づくり」への呼び掛け

提案内容と取組状況

1. 啓発標語の募集、ポスターコンテスト等の開催

- 交通マナーやルールの標語やポスターを一般参加のコンテスト形式で公募
- 既存の作品募集との連携やコンテスト等との連携・活用
例) 中原区まちづくり推進委員会「マナー・モラルアップポスター作品集」、交通安全運動における標語やスローガンの募集
- 学校の長期休暇を利用した作品募集、川柳募集等、多世代が対象の手法の検討
- 表彰式、入賞作品の展示会などの開催による、区民への周知・広報の検討

2. 啓発資料の作成

- 中原区らしさ、分かりやすさ、読まれやすさを重視し、イラスト等を効果的に使用した子どもや外国人にも伝わりやすい啓発資料の作成
- 目に留まる・残る啓発資料を実現性や形式等を考慮して作成
例) しおり、マグネット、カレンダー、道路上の路面表示など
- 学校や区民の集まるイベント等で配布

3. ベビーカー利用者のマナーや周囲のベビーカーへの配慮・啓発資料の作成

- ベビーカー利用者にマナーを促す資料（例：横列通行やスマホ利用の"ながら通行"をしない）を作成し、子育てサロンや乳幼児健診の場などで配布
- ベビーカーへの配慮を促す資料を作成し、駅周辺、子育て施設、商店等に掲示



中原区 PTA 協議会広報紙への啓発記事の掲載

「区 P 協なかはら」第 2 号（平成 27 年 12 月 14 日発行）に自転車の交通ルールがクイズ形式で掲載されました。委員からの提案もあって実現しました。

区民課窓口での交通安全啓発動画の配信

区民課窓口の待合スペースで、平成 28 年 3 月から交通安全の啓発動画を配信しています。

「公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会」資料の活用の検討

国土交通省の委員会の成果として公開されている「ベビーカーや周囲にマナーや配慮を促す広報資料」を活用し、平成 28 年 4 月から、子育てサロンの利用者にはチラシの配布を予定しています。



「区 P 協なかはら」第 2 号



区民課窓口における動画配信



「公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会」(国土省) 作成資料

今後の進め方など

今後の検討課題

- 作品募集やコンテストの参加のしくみ
- 啓発資料の内容・作成方法
- 啓発資料の掲出場所や許可申請など

担い手候補（実行主体・協力依頼）

中原区まちづくり推進委員会、子育て関係団体、交通安全関係団体、区役所関係部署など

取組手順（案） できることから取り掛かる

- ① 既存の啓発資料の活用の検討、掲示場所の調整、作成・掲示
- ② 標語やポスターの作品募集要項、実施体制等の検討、各団体への働きかけ
- ③ 啓発資料の作成・活用、コンテスト・表彰式の開催など

提案③ 「みんなで育てる交通マナー」キャンペーン・イベント

※一つ目のテーマと併せて、キャンペーン等の展開

課題と解決の方向性

解決したい地域課題

- 自転車危険・違反運転、事故の増加
- 交通ルール・マナーを知らない、または意識が低い区民の存在

課題解決の方向性

- 多様なメディアでアピールし、認知度の拡大
- 参加団体・活動団体の交流、相互の情報交換による活性化

提案内容と取組状況

1. 普及啓発のしくみづくり・キャンペーンの展開

- "みんなで育てる交通マナー"の言葉を活かして実施
- サイクルの日（3/19）、二輪の日（20日）等を設定することによる定期的な意識づけや、啓発の強化期間の設定とその広報
- 広報大使の任命（知名度のある人、地域のイベントに参加・協力できる人）、と活用（広報大使を通じたPR）
- 作品募集（提案②）や活発な活動団体の表彰式や入賞作品の展示会の開催で、より多くの区民に周知

2. 発表・交流の場の創出

- 取組の内容や成果の周知、体験機会の創出
- 既存のイベント等での出展やステージでの発表等、体験機会の創出
例）区民祭や区民会議市民報告会等の場の活用

3. 自転車安全点検などの実施

- イベント等で自転車の安全点検（タイヤ・ブレーキ・ライト）の実施（自転車販売業者等との連携）
- 「点検済」「安全運転宣言」などの啓発シールの作成、配布
- 自転車保険加入の機会等と捉えてPR（自転車保険会社等との連携）
→「自転車安全運転者証」の取組等に向けた検討

広報大使の任命・任命式の開催

「第5期区民会議市民報告会」（平成28年5月28日（土）、中原市民館にて開催予定）において、広報大使の任命及び任命式の開催を目指して検討しています。

区民会議市民報告会での発表・体験

「第5期区民会議市民報告会」において、今期の区民会議が検討し、取り組んできた提案について来場者に知ってもらい、体験してもらう企画を検討し、準備を進めています。

例）交通ルール・マナーのクイズの実施など

今後の進め方など

今後の検討課題

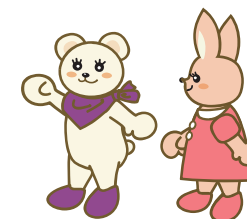
- キャンペーン期間の設定
- 実施手法・活用するイベントの設定
- 関係団体への協力依頼
- 自転車点検の基準・方法の設定など

担い手候補（実行主体・協力依頼）

自転車販売業者及び業界団体等、既存イベントの実行主体など

取組手順（案） できることから取り掛かる

- ①協力団体との調整、広報大使への依頼内容の検討（就任依頼・調整等）
- ②既存のイベント等の連携等の検討（主催団体への働きかけなど）
- ③キャンペーン、イベントの実施に向けた検討



コミュニティバス・循環型バス

駅周辺や商店街の混雑解消、自転車利用者の減少等による安全・安心な歩行空間環境の確保に資する手法として「コミュニティバス・循環型バス」の実現や、既存バス路線の変更などの意見が出されました。

市の施策などの確認の結果、市全体の中では課題の重大性・緊急性・優先順位などが他地域より低いことが確認されたほか、コミュニティバス・循環型バスの実現には地域主体の発意がまず必要であることや、路線運営の採算確保が非常に困難であることなどが分かり、長期的な視点に基づき、地域主体で機をとらえた取組が必要なことを確認しました。具体的に出された路線に関する意見の例は次のとおりです。

- 例) 井田、元住吉の商店街を通過して元住吉の駅前に着くバス路線の復活
井田病院や国際交流センター等の公共施設を循環する路線の設定



区民会議（全体会議）の様子

3. 参考事例やその他の検討内容など

審議テーマの検討調査に際して、参考にした区内外の取組事例、委員が体験してみた取組や今後実践が予定される取組、その他の検討内容などは次のとおりです。

「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」

区内外の既存の取組事例・施策

〔川崎市のごみ施策の現状と課題〕

環境局生活環境部廃棄物政策担当係長を招き、ごみの分別の分かりやすさ、自分でごみを出すことが困難な人への支援等の課題、市廃棄物減量指導員（区内 250 世帯に一人）の活動の現状などについて確認しました。

〔区内外の取組事例〕

- **川崎市の各種広報資料**…ごみの出し方の多言語資料、転入者配布資料など
- **NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントの早期清掃活動**…多世代が参加する活動
- **C C等々カ エコ暮らしフェア**…C C等々カ（市・川崎フロンターレ・富士通・公園緑地協会）主催の“エコ暮らし”を学ぶ体験・参加型イベント
- **3 R推進広報大使**…ご当地アイドル川崎純情小町☆を起用したごみ減量キャンペーン
- **スポーツ GOMI 拾い**…多世代で取り組めるごみ拾いを題材とした新たなスポーツ
- **仙台ワケルネット**…仙台市のごみ減量・リサイクル情報総合サイト
- **多摩市リサイクル&エコロジー情報誌「ACTA」**…ごみの分別の仕方や地域の事業者の取組、減量日本一を目指した統計等の掲載記事



NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントの早期清掃活動



多摩市リサイクル&エコロジー情報誌「ACTA」

取組の体験**■中原区まちづくり推進委員会プロジェクト「ミッションは落書き消し」**

平成 27 年 2 月 12 日（木）に、店舗のシャッターや案内サインなどの上に描かれた落書き消し作業を 10 名の区民会議委員が体験。落書きの数の多さや作業の大変さだけでなく、活動する姿を見せることの大切さを実感しました。



落書き消しの作業を体験する委員

■多摩川美化清掃

平成 27 年 6 月 7 日（日）に市民参加によるまちづくりの一環として開催されている多摩川美化清掃に 5 名の委員が参加し、実際に体験することの大切さを実感しました。

その他の検討内容**■スポーツ GOMI 拾い**

定められたエリアで制限時間内に、チームワークでごみを拾い、集めたごみの量や質で競い合う競技で、「日本スポーツ GOMI 拾い連盟」による各地での開催実績があります。多世代で取り組める取組として検討しましたが、中原区では適した会場が無いとの意見もありました。

■モデル集積所の設置

模範的な集積所、分別しやすい機能的なごみ箱や集積所等を、モデル的に、区民の目に付く場所に設置してはどうかという意見が出されました。

他方で、集合住宅等では住民専用の集積所が常設されていたり、管理人が分別してくれるなどの例もあり、「地域や居住環境等によって、理想的なごみ集積所の形も大きく異なることから統一的なモデルの設定が難しい」との指摘があり、設置・普及にかかるコストなども懸念されました。

■きれいなまちづくり活動コンクール・作品展

「きれいなまちづくり活動」コンクールとして、例えば集積所や地域の好きな場所の絵画や写真、標語等の募集、表彰するコンクールを開催してはどうかという意見が出されました。地域の団体や市民活動団体が絵画等のコンクールを開催している例もいくつか確認されましたが、募集内容等の詳細の検討までには至りませんでした。

「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」

区内外の既存の取組事例・施策**〔中原区の交通事故・検挙数等の現状〕**

区役所危機管理担当から、次のような区内の交通事故や交通施策に関する現状の説明を受け、確認しながら検討を進めました。

- 道交法改正以降、6～9月の3か月間で中原署管内で456件の自転車運転の違反が検挙された
- 区内で平成27年度中に146件の自転車事故が発生した
- 交通人身事故に占める自転車事故の割合（34.9%）は市内ワースト2位だが、人口あたりの自転車事故件数は市内で下から2番目で、全国トップの自治体の半分程度の件数

〔区内外の取組事例〕**■川崎信用金庫「川崎ジュニア文化賞」カレンダー**

市内名所を描いた子どもたちの作品をカレンダーにして無料配布

■中原区まちづくり推進委員会の「マナー・モラルアップポスター募集」事業

夏休みの作品募集と表彰。交通問題に関する作品もある。入選作品集の冊子も制作

■中原区まちづくり推進委員会の「自転車と共生するまちづくり」

小杉駅や丸子地区を中心に違法駐輪・放置自転車対策に長年取り組む。駐輪防止のフラワーボット設置や呼びかけパンフレットを作成・配布など

■東門前小学校（川崎市）前の路面表示

学校前の路面に子どもたちの作品を活用した路面表示を設置

■ボーイスカウトの「自転車運転免許証」

交通ルールの講義や実習、自転車整備など年代に合わせたカリキュラムを経て、自動車運転免許証に似せた免許証を取得。取得しないと集会などに自転車で来られない。

■茅ヶ崎市の取組

高校生や教職員・PTAとの協働によるレインウェアの作成、神奈川県自転車商協同組合による市内10会場での自転車点検、軒下駐輪場などのユニークな取組

今後、実践が予定される取組

■多世代参加型のワークショップによるマップづくり

交通事故の多発する危険箇所など地域の交通環境の課題について、多世代参加のワークショップで現場を確認し、マップづくり等で共有するなどして、課題解決につなげるといった意見が出されました。

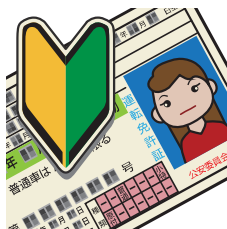
今後、平成 28 年度の中原区市民提案型事業に採択された事業の中で、特にユニバーサルデザインの視点からの事業の検討が予定されています。

その他の検討内容

■中原区版「自転車安全運転者証」

中原区として独自の取得基準や魅力的なデザイン、取得者へのメリット（例：駐輪場の優先利用や自転車専用の損害保険加入の優待）等を付加する提案を検討しました。

「中原区らしい、ユニークな取組」として検討しましたが、基準の設定や公平性、メリットの検討、関係団体との調整等から、短期的に実現するのは困難と判断するに至りました。取組提案の『「みんなで育てる交通マナー」キャンペーン・イベント』中の「自転車安全点検などの実施」（20 ページ）などに取り組む中で、自転車販売業者や警察等関係団体との協力・調整を段階的に進めるなど、長期的な視点の下で進めることが必要です。



IV 資料編

1. 第5期中原区区民会議について

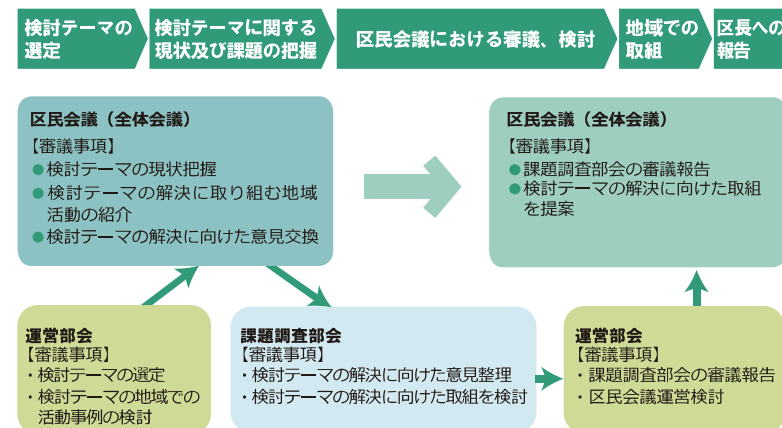
①区民会議とは

**区民が主体となり、
地域課題を解決するために
話し合う会議です**

区民会議は、平成17年4月に施行した川崎市自治基本条例の第22条に規定されています。区民の参加と協働により、地域の課題を区民が主体となって解決を図るための調査・審議を行う会議で、暮らしやすい地域社会をつくることを目的とした市長の附属機関として、各区に設置されています。

②区民会議の審議の流れ

区民会議の検討テーマは、区民会議委員が日々の活動や生活を通して検討する必要があると感じた課題、区役所が業務を通して把握した課題、区民から寄せられた課題などの中から、緊急性や重要性を考慮して選定し、次の流れで、地域での取組につなげていきます。



2. 委員・参与名簿

区民会議は、地域で様々な活動をしている団体からの推薦や、公募、区長推薦により選考された20人の委員で構成され、任期は1期2年間です。

その他、中原区を選挙区とする川崎市議会議員、神奈川県議会議員が参与として出席し、必要な助言をします。

【第5期中原区区民会議委員（50音順）】※○は委員長、○は副委員長、／は部会員の○は部会長、□は副部会長
※任期：平成26年7月1日から平成28年6月30日まで

	氏名	選出区分	団体名等（役職）	運営部会	課題調査部会
◎	石川 喜久雄	団体推薦（⑤産業・まちの活力）	中原区商店街連合会（副会長）（～H27.12）		
◎	板倉 徹	団体推薦（⑦地域組織・まちづくり）	中原区まちづくり推進委員会（委員長）	◎	
◎	井上 剛	区長推薦	中原アシストクラブ		○
◎	岩崎 貴志	団体推薦（⑦地域組織・まちづくり）	川崎地域連合（中原地区連合）（幹事）（H27.8～）		
◎	梅原 英毅	団体推薦（③子育て・教育）	ボーイ&ガールスカウト中原区協議会（会長）		○
◎	尾木 孫三郎	団体推薦（①防災・地域交通）	中原区自主防災組織連絡協議会（副会長）		
◎	梶川 明美	団体推薦（⑧文化・観光）	中原区文化協会		○
◎	園部 絹代	区長推薦	中原区町内会婦人部連絡協議会（会長）		○
◎	反町 充宏	公募委員		○	□
◎	田中 明	団体推薦（②福祉・健康）	社会福祉法人川崎市中原区社会福祉協議会（理事）		○
◎	塚本 りり	団体推薦（⑦地域組織・まちづくり）	NPO法人小体駅周辺エリアマネジメント（事務局長）		○
◎	長尾 ヒロミ	団体推薦（③子育て・教育）	中原区PTA協議会（副会長）		○
◎	仲亀 依子	区長推薦	公益財団法人川崎市身体障害者協会		○
◎	中森 ジュリアみどり	公募委員		○	○
○	成田 孝子	団体推薦（③子育て・教育）	中原区子育てネットワーク	○	◎
○	仁上 勝之	団体推薦（②福祉・健康）	中原区民生委員児童委員協議会（副会長）	○	○
○	萩原 ひとみ	団体推薦（⑤産業・まちの活力）	川崎中原工場協会	○	○
○	橋本 満昭	団体推薦（④自然・生活環境）	中原区市民健康の森を育てる会（顧問）	□	
○	松澤 直	団体推薦（⑦地域組織・まちづくり）	川崎地域連合（中原地区連合）（幹事）（～H27.7）		
○	松本 登	団体推薦（⑦地域組織・まちづくり）	中原区町内会連絡協議会（副会長）		□
○	山崎 初美	公募委員			○

【中原区区民会議参与（50音順）】

川崎市議会議員

	氏名	会派
1	市古 映美	共産党
2	潮田 智信	民主党（～H27.5.2）
3	大庭 裕子	共産党
4	押本 吉司	民主みらい
5	川島 雅裕	公明党
6	重富 達也	無所属（H.27.5.3～）
7	末永 直	自民党（H.27.5.3～）
8	原 典之	自民党
9	東 正則	民主党（～H27.5.2）

10	まつい だかし 松井 孝至	民主みらい（H.27.5.3～）
11	まつかわ しやうしろう 松川 正二郎	新しい川崎の会（～H27.5.2）
12	まつばら しげふみ 松原 成文	自民党
13	よしおか としすけ 吉岡 俊祐	公明党

神奈川県議会議員

	氏名	会派
14	かわもと まなぶ 川本 学	自民党（H.27.4.30～）
15	あけの まさひろ 君島 千佳子	共産党（H.27.4.30～）
16	たけし たけし 滝田 孝徳	民主党・かながわクラブ
17	ひらた かずあき 日浦 和明	県友会（～H27.4.29）

3. 会議開催記録

① 中原区区民会議 準備会議

回数	日時・議題
第1回	平成26年7月14日（月）13：00～ ■区民会議のオリエンテーション、審議テーマ選出に向けた準備等

② 区民会議

全委員及び参与が対象となる全体会議を8回開催しました。

回数	日時・議題	審議テーマ
第1回	平成26年7月29日（火）14：00～16：17 ■正副委員長の互選、審議テーマについて ■区民会議の広報について	地域コミュニティ みんなで まちをきれいに
第2回	平成26年10月15日（水）14：00～16：00 ■審議テーマの決定 ■課題調査部会委員の選任	
第3回	平成27年1月22日（木）14：00～15：53 ■審議テーマの審議	
第4回	平成27年3月23日（月）14：00～16：13 ■審議テーマの審議 ■二つ目の審議テーマの検討	
第5回	平成27年7月2日（木）13：30～15：40 ■審議テーマの審議 ■二つ目の審議テーマの決定 ■課題調査部会委員の選任	
第6回	平成27年10月29日（木）14：00～15：50 ■審議テーマの審議	地域コミュニティ みんなで 育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～
第7回	平成28年1月25日（月）14：00～15：50 ■審議テーマの審議、取組事項の経過報告 ■区民会議市民報告会	
第8回	平成28年3月22日（火）14：30～16：40 ■区民会議報告書 ■区民会議市民報告会	

③運営部会

「運営部会」は、区民会議の円滑な運営を図るため、審議テーマの選定や運営に係る調整を行います。委員長、副委員長を含めた7名の委員が参加しました。

回数	日時・議題	審議テーマ
第1回	平成26年8月21日(木) 9:30～11:35 ■正副部会長の互選、審議テーマの検討 ■第2回区民会議	地域コミュニティ みんなで まちをきれいに
第2回	平成27年1月9日(金) 10:00～11:50 ■審議テーマの審議状況 ■第3回区民会議	
第3回	平成27年2月19日(木) 10:00～12:00 ■審議テーマの審議状況 ■第4回区民会議、中間報告書の構成	
第4回	平成27年6月4日(木) 14:00～16:13 ■審議テーマの審議状況、二つ目の審議テーマの検討 ■第5回区民会議	
第5回	平成27年9月29日(火) 14:30～16:30 ■審議テーマの審議状況 ■第6回区民会議	地域コミュニティ みんなで 育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～
第6回	平成27年12月21日(月) 14:30～16:30 ■審議テーマの審議状況 ■第7回区民会議	
第7回	平成28年2月19日(金) 9:30～11:30 ■区民会議報告書 ■区民会議市民報告会 ■第8回区民会議	



運営部会の会議の様子

④課題調査部会

「課題調査部会」は、区民会議で選定された審議テーマについて、地域課題の調査やその解決に向けた取組の審議を集中的・効果的に行います。審議テーマごとに組織され、審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」では8名、「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー～歩きやすいまちに」では9名の委員が参加しました。

回数	日時・議題	審議テーマ
第1回	平成26年11月6日(木) 13:30～15:40 ■正副部会長の互選、審議テーマの調査検討	地域コミュニティ みんなで まちをきれいに
第2回	平成26年12月8日(月) 17:30～19:40 ■審議テーマの調査検討	
第3回	平成27年2月2日(木) 10:00～12:00 ■審議テーマの調査検討	
第4回	平成27年5月7日(木) 13:30～15:30 ■審議テーマに関わる取組提案のまとめ	
第5回	平成27年8月3日(月) 14:00～16:00 ■正副部会長の互選、審議テーマの調査検討	地域コミュニティ みんなで 育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～
第6回	平成27年9月2日(水) 10:00～12:00 ■審議テーマの調査検討	
第7回	平成27年11月11日(水) 10:00～12:00 ■審議テーマの調査検討	
第8回	平成27年12月2日(水) 10:30～12:00 ■審議テーマに関わる取組提案のまとめ	



課題調査部会の会議の様子

4.「なかはら区民会議だより」の発行

区民会議の審議状況や取組提案の様子をより多くの区民の皆様に伝えるために、広報紙「なかはら区民会議だより」を発行しています。第 5 期中原区区民会議では、第 22 号から第 27 号までを発行しました。

区役所窓口や区ホームページ、区内公共施設での閲覧ができるほか、町内会・自治会における回覧も行っています。

号数	主な掲載内容	発行日
第 22 号	第 5 期区民会議の始動・委員紹介など	平成 26 年 10 月 1 日
第 23 号	一つ目の審議テーマの決定、課題調査部会での意見交換など	平成 27 年 1 月 1 日
第 24 号	取組提案の審議状況、落書き消し活動体験報告など	平成 27 年 3 月 31 日
第 25 号	取組提案の実施状況…等々カピカ美化大作戦、啓発人形劇 なかはら一斉クリーンアップ大作戦実施要項&参加者募集 二つ目の審議テーマの紹介	平成 27 年 11 月 1 日
第 26 号	取組提案の実施報告…等々カピカ美化大作戦、啓発人形劇 …なかはら一斉クリーンアップ大作戦 二つ目の審議テーマの審議状況	平成 28 年 1 月 1 日
第 27 号	二つ目の審議テーマの審議結果の報告 取組提案の実施報告…区 P T A 協議会広報紙へ啓発記事掲載、 スクエアードストリート方式交通安全教室見学	平成 28 年 3 月 31 日



「なかはら区民会議だより」第 25 ～ 27 号 表紙



発行 中原区区民会議

編集 中原区区民会議事務局
(中原区役所まちづくり推進部企画課)

所在地 川崎市中原区小杉町 3-245

電話 044-744-3149

FAX 044-744-3340

メール 65kikaku@city.kawasaki.jp



中原区の木 モモ



中原区の花 パンジー

発行：中原区区民会議

編集：中原区区民会議事務局

(中原区役所まちづくり推進部企画課)

所在地：川崎市中原区小杉町3－245

電話：044-744-3149

FAX：044-744-3340

メール：65kikaku@city.kawasaki.jp